

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なかよしランド		
○保護者評価実施期間	令和6年11月18日		令和6年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	77名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	令和6年11月18日		令和6年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会福祉法人パステルが運営を行っているので、高等部卒業後の生活について様々なアドバイスをすることができます。	高等部の利用者様を対象に作業体験を実施しています。隔年ではありますが、児童部主催で法人内の事業所の見学会を開催しています。	事業所見学を行う際は、通所事業所のみではなく、GHの見学や説明を聞ける機会を設けていきます。
2	法人内の事業所で行っている体験教室や、法人内パン屋での買い物学習を行うことができます。	陶芸教室やピザ作り体験等、法人内の事業所で行っている体験教室に親子で参加するイベントを企画しています。 また、長期休暇や休日日課の日には法人内のパン屋に買い物学習に行き、お金の学習や、基本的マナーやルールを学ぶ機会としています。	今年度は親子参加イベントが少なかったため、来年度はより多くのイベントを企画していきます。
3	小学生から高校生までの年齢層の利用者様が集団生活を送っているため、異年齢の方とも関わる機会を提供できます。	平日、休日の余暇時間の際、異年齢同士の利用者様が関わる姿が見られた際には、見守りを行い、必要時には支援員が仲介に入り、望ましい関わりができるようにしています。	長期休暇や休日等、意図的に異年齢の利用者様同士が関わる機会を設定し、社会性の発達を促していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の利用時に事業所での滞在時間が短く、十分な療育を行えないことがあります。	支援学校から事業所への距離があり、事業所に到着してから着替えやおやつを行うと実際の活動時間が短くなってしまいます。	事業所に着いてからのプログラムの見直しを行い、短い時間でも十分な療育を行うことができるように努めていきます。
2	父母の会、ペアレントトレーニング等、保護者様を対象にした交流会や研修会を開くことができませんでした。	親子参加のイベント時に保護者様同士で交流していただくことはできましたが、少人数の交流で、多くの方の交流の機会は提供できませんでした。	多くの方に交流会に参加していただけるよう、開催日時や内容等を検討していきます。
3	緊急時の連絡手段の少なさ	緊急時(災害時や、急な事業所からの一斉連絡等)における連絡手段が電話のみしかなく、連絡がつかない保護者様に対しては、何度も電話をかけなおすしかない状況となっている。	連絡帳アプリや、新規連絡方法の検討をし、実行していきます。